**第１８回 全国計量士大会　「発表概要」**

第1８回全国計量士大会の発表概要を事前に確認の上、多くの計量士始め関係者の皆さんにご参加いただけますよう、案内パンフレットと２名の「発表概要」をお届けします。

　なお、パンフレットに記載のように、ご意見等を募集しています。E-mail、FAXでお寄せ下さい。大会が円滑かつ成功裏に進められるよう、当日の意見交換の運営及び今後の資料として活用させていただきます。

　ご協力をお願いいたします。

**◆発表1**

**「（食料品）適正計量管理事業所の計量管理と自動はかり対応の課題」**

　　　　　　　　　　　　　　　　所属　一般社団法人千葉県計量協会

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ヤマサ醤油株式会社　品質保証部

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　計量士　廣　田　　　怜　氏

**◆キーワード　「これまでの計量管理」　「社内研修」　「多種計量器の管理」**

**「自動はかり」　「今後の対応と課題」**

**◆概要**

　適正計量管理事業所の計量器管理は、非自動はかりだけでなく、圧力計、温度計、密度計、流量計など多種多様な管理が必要となる。これら計量器の日常管理、校正など社内における計量管理の方法と社内研修等について、どのように実施しているか紹介する。

　加えて、これからの計量器管理として計量法政省令改正に伴う自動はかりの管理も必要となる。現状、我々が行っている対応について紹介するとともに、現在の管理方法とJIS法とを比べ、今後の適正計量管理事業所としての自動はかりの管理方法についての課題とその対応策について発表する。

**◆発表2**

**「自動はかりの制度改正と計量管理の今後の課題」**

　　　　　　　　　　　　　　　　所属　神奈川県計量士会　常任理事

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　日本製粉株式会社　生産･技術本部生産・技術部

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　計量士　奥　村　　　元　氏

**◆キーワード　「自動はかり」　「日常管理」　「検定制度」　「JIS情報」**

**「今後の課題」**

**◆概要**

　計量法政省令改正にともなう検定の技術基準は、自動捕捉式はかりのJIS B 7607は2018年8月に、ホッパースケールのJIS B 7603は2019年8月に改正された。円滑な運用のため更なるJIS改正作業が進められている。既存の自動はかりの検定猶予期間は、自動捕捉式はかりで２０２５年３月末、ホッパースケールで２０２６年３月末となっている。

これらの新制度に対応して、計量士は、制度改正の内容を理解してどのような日常管理をしていけばよいか、具体的な事例を紹介する。この事例を基に計量士の将来のために有益な議論が行われることを期待する。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上